

2023年度版 環境経営レポート



春遠ダム(春遠第1ダム)本体建設工事 作業風景
仮設工事(上流仮締切工) 令和5年9月頃

発行年月日 2024年 6月20日

株式会社 今 宮 建 設

〒788-0331 高知県幡多郡大月町口目塚68-1

TEL 0880-74-0631

FAX 0880-74-0631

E-mail : imamiya3.20@shirt.ocn.ne.jp

目 次

ごあいさつ

1. 組織の概要	・・・4
2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日	・・・5
3. 環境経営方針	・・・7
4. 環境管理組織体制	・・・8
5. 環境活動への取組の全体概要	・・・9
6. 環境経営目標	・・・10
7. 環境経営計画	・・・12
8. 環境経営目標の実績	・・・13
9. 環境経営計画の取組結果とその評価	・・・20
10. 次年度の取組内容	
(1)次年度の環境経営目標	・ ・21
(2)次年度の環境経営計画	・ ・22
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	・ ・24
12. 代表者による全体評価と見直しの結果	・ ・26
13. その他の取組み	・ ・27
14. 教育・啓発	・ ・34

発行日： 2024年 6月 20日

発行責任者： 環境管理責任者 本多 光生

次回発行予定： 2025年 6月 頃

ごあいさつ

私たちは、地域経済発展のため、また災害時を含め地域住民の希望の存在としての企業のあり方を追及し、日々活動しています。

そして、その企業活動の重要な柱を「品質」・「防災」・「環境」と位置付け、それぞれの分野の第一人者を目指し、全社をあげて真剣に取り組んでいます。

近年、地球環境問題は、益々深刻なものとなり、この問題を解決していくため、個々の企業は、積極的に環境対策に取り組む必要があります。

私たちは、SDGsの理念に賛同し、環境マネジメントシステムを活用して、環境経営方針を策定し、環境経営目標、環境経営計画のもと、自らの社会的責任を果たしてまいります。

この度、2023年度までの取り組みを中心に、これまでの成果を「2023年度版環境経営レポート」として取りまとめました。

今後も、弊社として、環境問題について積極的に取り組んでいく所存でございますので、皆様からのご指導、ご鞭撻を賜れば幸いに存じます。

2024年6月20日

株式会社 今宮建設
代表取締役

今宮 裕子



大月町: 柏島

1. 組織の概要

【事業所名】 株式会社 今宮建設

【代表者名】 代表取締役 今宮 裕子

【所在地】

本社 〒788-0331 高知県幡多郡大月町口目塚68番地1

倉庫 〒788-0331 高知県幡多郡大月町姫ノ井ヒウシタ1408番地

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 専務取締役 本多 光生

連絡先担当者 専務取締役 本多 光生

連絡先

TEL: 0880-74-0631

FAX: 0880-74-0906

E-mail: imamiya3.20@shirt.ocn.ne.jp

【事業活動内容】

建設業(土木工事業・建築工事業)

建設業許可

許可番号 高知県知事許可（般-30）第6806 号

許可年月日 平成30年12月10日

建設業の種類 土木工事業 、 建築工事業
管工事業 、 水道施設工事業
とび・土工工事業 、 解体工事業

【事業規模】

設立年月日 平成 3年 7月30日

資本金 3, 000万円

本社及び倉庫 敷地面積 1, 056㎡

本社及び倉庫 延べ床面積 631㎡

活動規模	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
工事等の件数	件	9	11	18	14	17
売上高	百万円	88	91	71	78	107
従業員	人	7	8	8	9	9
事務所床面積	m ²	31	31	31	31	31
倉庫床面積	m ²	600	600	600	600	600

従業員数 9人 (2024年6月20日現在)

会計年度 6月 ～ 5月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲(認証・登録範囲)】

株式会社 今宮建設 全社

本社 高知県幡多郡大月町口目塚68番地1

倉庫 高知県幡多郡大月町姫ノ井ヒウシタ1408番地

対象事業 土木工事業、建築工事業
管工事業、水道施設工事業
とび・土工工事業
解体工事業

【レポートの対象期間】

2023年 6月 1日 ～ 2024年 5月 31日

【環境活動レポートの発行日】

2024年 6月 20日

【次回環境レポートの発行予定日】

2025年 6月頃

【作成責任者】

環境管理責任者

本多 光生

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs NO.	項目	当社対象有無	備 考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を		高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに		環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も		高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	○	低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう		高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2 削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2 削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう		下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさを守ろう		緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に	○	寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

3. 環境経営方針

【環境経営理念】

株式会社今宮建設は、持続可能な社会の構築に向け、自然との共生を基本として、建設工事において、環境保全を意識し、環境負荷低減を行い、継続的改善による環境経営に取り組めます。

【基本方針】

1. 建設工事における設計・資材調達・施工・廃棄物処理の各段階において、環境負荷の少ない事業活動を行います。
2. 工事車両・重機・一般車両の燃料使用量削減及び、事務所・現場における電力使用量の削減により、二酸化炭素排出量削減に努めます。
3. 建設工事および事務所における廃棄物排出量の削減及びリサイクルに努めます。
4. 倉庫・事務所及び建設現場における水使用量の削減により排水量の削減に努めます。
5. 建設現場における化学物質排出について配慮します。
6. 事務用品及び調達資材のグリーン購入を積極的に推進します。
7. 環境関連法規及び条例等を遵守します。
8. ボランティア活動・社会貢献活動に積極的に参加し、地域のイベント等に協力します。
9. 環境方針は、広く従業員に周知徹底し、全従業員が分担して取り組むとともに、定期的に見直し継続的な改善を図ります。
10. 環境経営レポート等、環境情報については広く外部公表します。

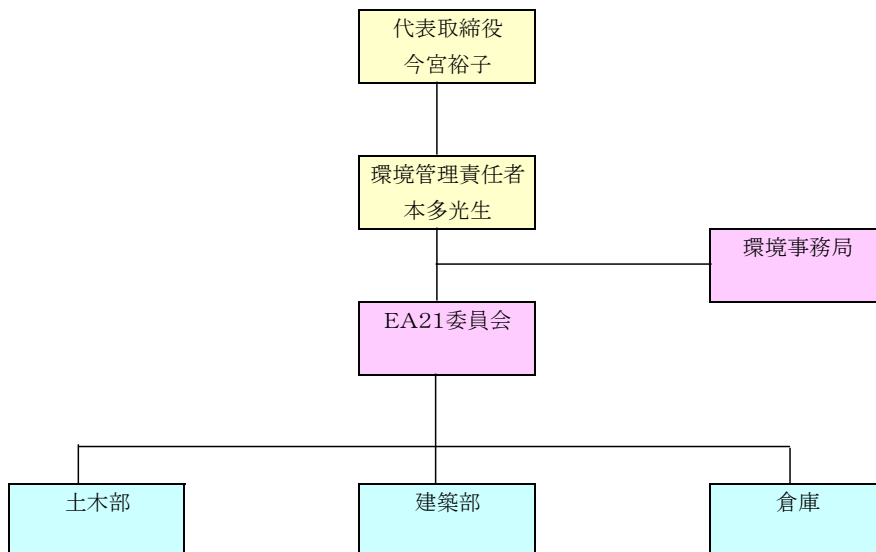
制定日 2022年 6月 1日

株式会社 今宮建設

代表取締役

今 宮 裕 子

4. 環境経営組織体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 ・代表者による全体評価と見直し実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開
部門長	・自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 ・自部門に係る環境経営計画の実施、達成状況報告 ・自部門に係る緊急事態訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境活動への取組の全体概要

当社は、「エコアクション21建設業者向ガイドライン2017年版」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況>

- 電力使用量は、環境目標(原単位)に対して減少となりました。
- CO2排出量は、環境目標(原単位)に対して減少となりました。
- 燃料使用量は、環境目標(原単位)に対して減少となりました。
- 本年も、災害復旧等の活動に積極的に取り組みました。



春遠ダム 仮設工事(プラント基礎工事)



春遠ダム 仮設工事(上流仮締切)



春遠ダム 仮設工事(濁水処理設備基礎工事)

<株式会社今宮建設 の物質フロー> (2023年度)



6. 環境経営目標

(2023年度)

(1) 単年度目標

項目	総量・原単位	単位	基準年 2022年度 2022.6-2023.5	2023年度 目標 2023.6-2024.5
売上高		百万円	78	80
燃料使用量			15,231	14,650
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	3,482	3,400
	原単位	(ℓ/百万円)	45	42.5
軽油使用量	総量	(ℓ)	10,980	10,500
	原単位	(ℓ/百万円)	141	131.3
灯油使用量	総量	(ℓ)	769	750
	原単位	(ℓ/百万円)	9.9	9.4
LPG使用量	総量	(kg)	0	0
	原単位	(kg/百万円)	0	0
電力使用量	総量	(kWh)	7,239	7,200
	原単位	(kWh/百万円)	93	90.0
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	42,194	42,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	541	525
用水使用量	総量	(m ³)	347	340
	原単位	(m ³ /百万円)	4	4.3
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	735	730
	原単位	(kg/百万円)	9	9.1
産業廃棄物排出量	総量	(t)	187	180
	原単位	(t/百万円)	2	2.3
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100
グリーン購入	総量	(%)	80	80
環境負荷の少ない工事	総量	(件)	14件/14件	全件
環境美化活動	総量	(回)	10	10

- * 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数(2017年度実績)
(平成30年12月27日公表)の四国電力の調整後排出係数0.535(kg-CO₂/kWh)を使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)
- * 3. 環境負荷の少ない工事
- 環境負荷の少ない材料を使用
 - 低騒音・排出ガス対策型重機の使用
 - 環境保全に配慮した工法の採用
 - 濁水防止対策の実施
 - 型枠・工事看板への間伐材の使用
 - 工期短縮のため新工法の採用

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2022年度 実績(基準年)	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
売上高		百万円	78	80	80	80
燃料使用量			15,231	14,440	11,290	11,100
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	3,482	3,300	3,200	3,100
	原単位	(ℓ/百万円)	45	41.3	40.0	38.8
軽油使用量	総量	(ℓ)	10,980	10,400	7,360	7,280
	原単位	(ℓ/百万円)	141	130.0	92.0	91.0
灯油使用量	総量	(ℓ)	769	740	730	720
	原単位	(ℓ/百万円)	9.9	9.3	9.1	9.0
LPG使用量	総量	(kg)	0	0	0	0
	原単位	(kg/百万円)	0	0	0	0
電力使用量	総量	(kWh)	7,239	7100	7000	6,900
	原単位	(kWh/百万円)	93	88.8	87.5	86.3
CO ₂ 排出量	総量	(kg－CO ₂)	42,194	41,000	40,000	39,000
	原単位	(kg－CO ₂ /百万円)	541	512.5	500.0	487.5
用水使用量	総量	(m ³)	347	330	320	310
	原単位	(m3/百万円)	4	4.1	4.0	3.9
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	735	660	650	645
	原単位	(kg/百万円)	9	8.3	8.1	8.1
産業廃棄物排出量	総量	(t)	187	175	170	165
	原単位	(t/百万円)	2	2.2	2.1	2.1
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100	100	100
グリーン購入	総量	(%)	80	80	80	80
環境負荷の少ない工事	総量	(件)	14件/14件	全件	全件	全件
環境美化活動	総量	(回)	10	10	10	10

7. 環境経営計画

2023年度(期間:2023年6月～2024年5月)

項目		活動内容	担当者	期限
CO2 排出量削減	燃料使用量削減	○車両・重機のアイドリングストップの推進。	有田好史	2024年5月31日
		○車両のエコドライブの推進。	有田好史	2024年5月31日
		○タイヤの空気圧・エンジンオイルの定期的な点検。	有田好史	2024年5月31日
		○最大積載量の遵守。	有田好史	2024年5月31日
	電力使用量削減	○クレーン使用時は、事前に窓を全開・換気して稼働する。	今宮和子	2024年5月31日
		○昼休み・退社時の消灯。	今宮和子	2024年5月31日
		○エアコンの設定温度を夏場28℃、冬場20℃とする。	今宮和子	2024年5月31日
		○パソコンの電源はこまめに切る。	今宮和子	2024年5月31日
		○節電啓発の表示。	今宮和子	2024年5月31日
		○現場事務所での太陽光発電による電気の使用。	今宮和子	2024年5月31日
		○事務所及び工場事務所の照明のLED化を推進する。	今宮和子	2024年5月31日
用水使用量削減 (排水量削減)	○手洗い・うがい時の節水徹底。	松下益三	2024年5月31日	
	○道具の片付け時の節水徹底。	松下益三	2024年5月31日	
	○車両の洗車時の節水徹底。	松下益三	2024年5月31日	
	○節水表示をする。	松下益三	2024年5月31日	
廃棄物削減	一般廃棄物	○種類ごとに分別計測し、記録を取る。	今宮和子	2024年5月31日
		○コピーの両面印刷の徹底。	今宮和子	2024年5月31日
	産業廃棄物	○廃棄物減少のため、使用数量管理を徹底する。	今宮和子	2024年5月31日
		○マニフェスト伝票による管理を徹底する。	今宮和子	2024年5月31日
		○廃棄物の分別処理を徹底する。	今宮和子	2024年5月31日
		○発生した残材は、各現場で分別処分し、持ち帰らない。	今宮和子	2024年5月31日
グリーン購入	○事務用品のエコマーク商品の購入。	今宮和子	2024年5月31日	
	○エコマーク商品(資材)の積極的購入。	今宮和子	2024年5月31日	
	○再生材料から作られた製品の購入・使用。	今宮和子	2024年5月31日	
	○間伐材利用の製品の購入・使用。	今宮和子	2024年5月31日	
環境負荷の少ない工事実施	○低騒音・排出ガス対策重機の使用。	本多光生	2024年5月31日	
	○型枠、工事看板への間伐材の使用。	本多光生	2024年5月31日	
	○環境負荷の少ない材料を採用する。	本多光生	2024年5月31日	
	○濁水防止対策の実施。	本多光生	2024年5月31日	
	○環境保全に配慮した工法の採用	本多光生	2024年5月31日	
	○工期短縮のため新工法の採用	本多光生	2024年5月31日	
	○施工箇所の環境の事前調査とそれに配慮した施工提案	本多光生	2024年5月31日	
地域貢献活動	○ロードボランティアによる国道の清掃活動に取り組む。	本多光生	2024年5月31日	
	○ビーチボランティアへの参加。	今宮和子	2024年5月31日	
	○事務所周辺・現場周辺の清掃。	今宮和子	2024年5月31日	
	○交通エコポイント活動の支援	今宮和子	2024年5月31日	
	○地域行事への積極的協力と支援	今宮和子	2024年5月31日	
	○消防団活動・自主防災組織の活動支援	今宮和子	2024年5月31日	
	○「集落活動センター」の各種活動の支援	今宮和子	2024年5月31日	
	○各種環境活動への積極参加	今宮和子	2024年5月31日	

8. 環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

項目	総量・原単位	単位	基準年 2022年度 2022.6-2023.5	2023年度 目標 2023.6-2024.5	2023年度 実績 2023.6-2024.5	実績値／目標値 (%)	評価
売上高		百万円	78	80	107		
燃料使用量			15,231	14,650	14,080		
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	3,482	3,400	3,582	105.4	×
	原単位	(ℓ/百万円)	45	42.5	33	78.8	○
軽油使用量	総量	(ℓ)	10,980	10,500	10,224	97.4	○
	原単位	(ℓ/百万円)	141	131.3	96	72.8	○
灯油使用量	総量	(ℓ)	769	750	274	36.5	○
	原単位	(ℓ/百万円)	9.9	9.4	3	27.3	○
LPG使用量	総量	(kg)	0	0	0	-	-
	原単位	(kg/百万円)	0	0	0	-	-
電力使用量	総量	(kWh)	7,239	7,200	8,398	116.6	×
	原単位	(kWh/百万円)	93	90.0	78	87.2	○
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	42,194	42,000	39,865	94.9	○
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	541	525	373	71.0	○
用水使用量	総量	(m ³)	347	340	350	102.9	×
	原単位	(m ³ /百万円)	4	4.3	3	77.0	○
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	735	730	735	100.7	×
	原単位	(kg/百万円)	9	9.1	7	75.3	○
産業廃棄物排出量	総量	(t)	187	180	29	16.0	○
	原単位	(t/百万円)	2	2.3	0	12.0	○
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100	96.3	98.2	×
グリーン購入量	総量	(%)	80	80	80	100.0	○
環境負荷の少ない工事	総量	(件)	14件/14件	全件	17件/17件	100.0	○
環境美化活動	総量	(回)	10	10	10	100.0	○

*1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数(2017年度実績)

(平成30年12月27日公表)の四国電力の調整後排出係数0.535(kg-CO₂ /kWh)を使用した。

*2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(80%)

*3. 環境負荷の少ない工事

- 環境負荷の少ない材料を使用
- 低騒音・排出ガス対策型重機の使用
- 環境保全に配慮した工法の採用

- 濁水防止対策の実施
- 型枠・工事看板への間伐材の使用
- 工期短縮のため新工法の採用

*4. 評価は、「○」、「△」、「×」で評価する。

<環境経営目標未達成等理由>

- ◆ ガソリン使用量は、微増。
- ◆ 軽油使用量は、目標値を達成。運搬処理等が、少なかったためと考えられる。
- ◆ 灯油は、昨年の1/3となった。
- ◆ 用水使用量は、増加したが、ほぼ昨年並みとなった。
- ◆ 産業廃棄物は、取壊し工がなかったため、大幅に減少した。
- ◆ 電力使用量は、昨年を越えたが、冷房使用量が増えたためと考えられる。

<過去の実績>

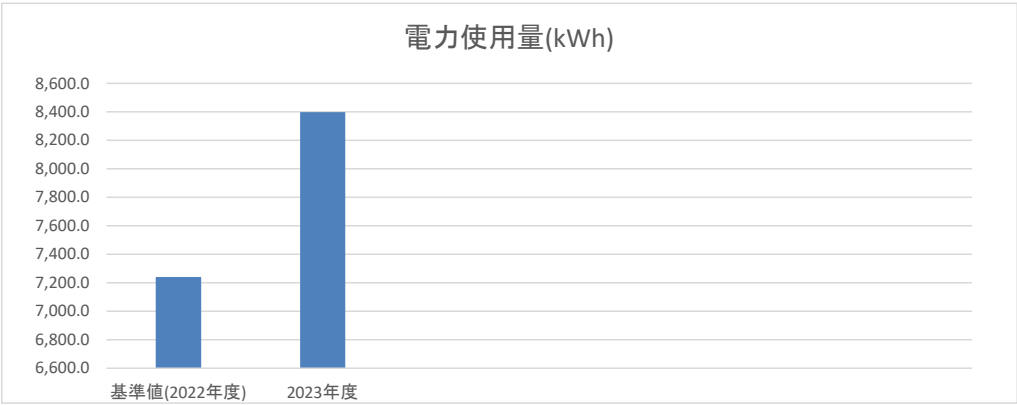
項目	総量・原単位	単位	2022年度 実績(基準年)	2023年度 実績			
売上高		百万円	78	107			
燃料使用量			15,231	14,080			
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	3,482	3,582			
	原単位	(ℓ/百万円)	45	33			
軽油使用量	総量	(ℓ)	10,980	10,224			
	原単位	(ℓ/百万円)	141	96			
灯油使用量	総量	(ℓ)	769	274			
	原単位	(ℓ/百万円)	9.9	3			
LPG使用量	総量	(kg)	0	0			
	原単位	(kg/百万円)	0	0			
電力使用量	総量	(kWh)	7,239	8,398			
	原単位	(kWh/百万円)	93	78			
CO ₂ 排出量	総量	(kg- CO_2)	42,194	39,865			
	原単位	(kg- CO_2 /百万円)	541	373			
用水使用量	総量	(m^3)	347	350			
	原単位	(m^3 /百万円)	4	3			
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	735	735			
	原単位	(kg/百万円)	9	7			
産業廃棄物排出量	総量	(t)	187	29			
	原単位	(t/百万円)	2	0			
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	96.3			
グリーン購入	総量	(%)	80	80			
環境負荷の少ない工事	総量	(件)	14件/14件	17件/17件			
環境美化活動	総量	(回)	10	10			

電力使用実績

2023年度目標		
総 量	kWh	:7,200.0
原単位(kWh/売上百万円)		:90.0

【実績】

項目	基準値(2022年度)	2023年度				
電力使用量(kWh)	7,239.0	8,398.0				
原単位(kWh/百万円)	93.0	78.0				



電力使用量の状況(2023年度)

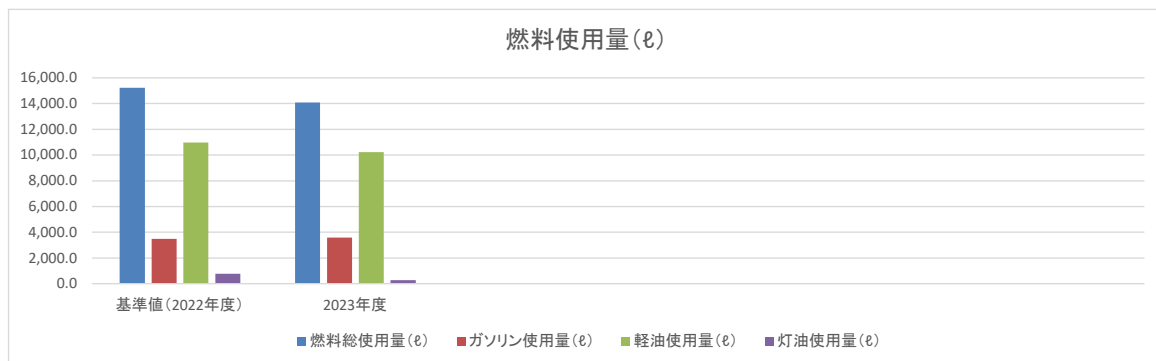
使用量は、目標値を超えたが、原単位は減少した。

燃料使用量実績

2023年度目標			
総 量 (ℓ)	:	(全体) 14,650	
		ガソリン	3,400.0
		軽油	10,500.0
		灯油	750.0
原単位 (ℓ/売上百万円)	:	(全体) 183.13	

【実績】

項目	基準値(2022年度)	2023年度				
燃料総使用量(ℓ)	15,231.0	14,080.5				
ガソリン使用量(ℓ)	3,482.0	3,582.0				
軽油使用量(ℓ)	10,980.0	10,224.5				
灯油使用量(ℓ)	769.0	274.0				
原単位(ℓ/百万円)	195.3	131.6				



燃料使用量の状況(2023年度)

全体 : 目標値を、達成できた。
ガソリン: 目標値に対し、微増となった。
軽油 : 目標値を、達成できた。
灯油 : 目標値を達成し、1/3の使用量となった。
* 原単位実績も、昨年より減少した。

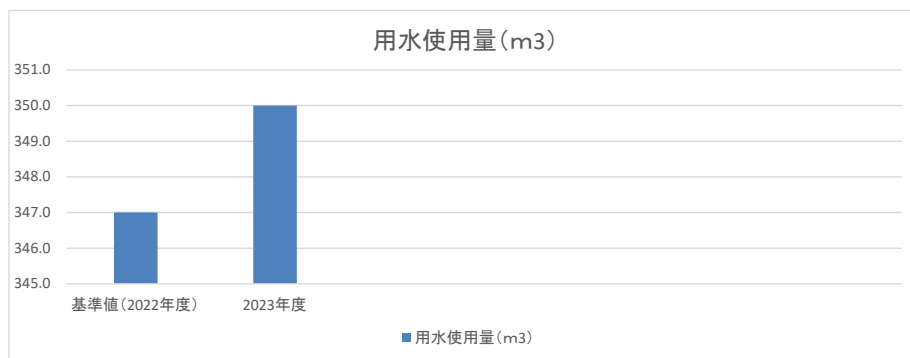
用水使用量実績

2023年度目標

総 量 m3 :340.0
 原単位 (m3/百万円) :4.3

【実績】

項目	基準値(2022年度)	2023年度				
用水使用量(m3)	347.0	350.0				
原単位(m3/百万円)	4.0	3.0				



用水使用量の状況(2023年度)

◆ 用水使用量は、増加したが、ほぼ昨年並みとなった。

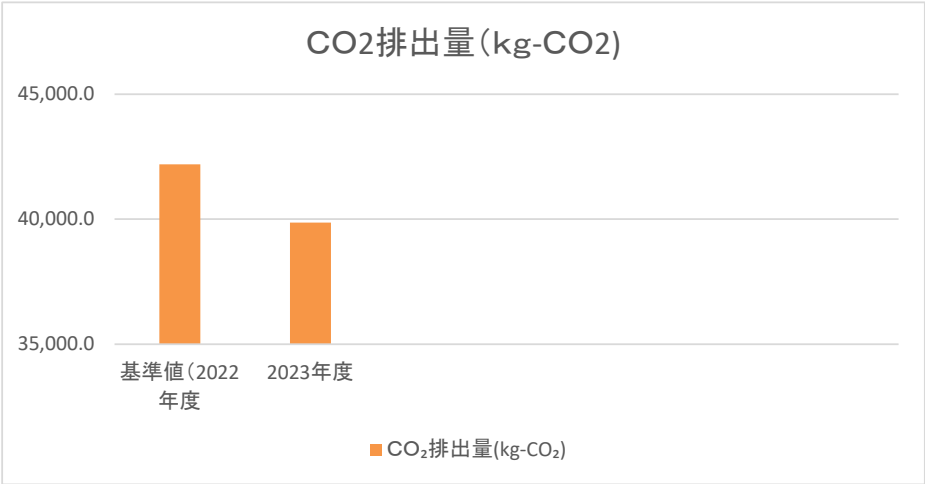
* 原単位実績も、昨年より減少した。

CO₂ 排出量実績

2023年度目標		
総 量	kg-CO ₂	:42,000.0
原単位(kg-CO ₂ /百万円)		:525.0

【実績】

項目	基準値(2022年度)	2023年度				
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	42,194.0	39,865.0				
原単位(kg-CO ₂)	541.0	373.0				



CO₂ 排出量の状況(2023年度)

目標値を達成し、さらに原単位においても減少した。

廃棄物排出量実績

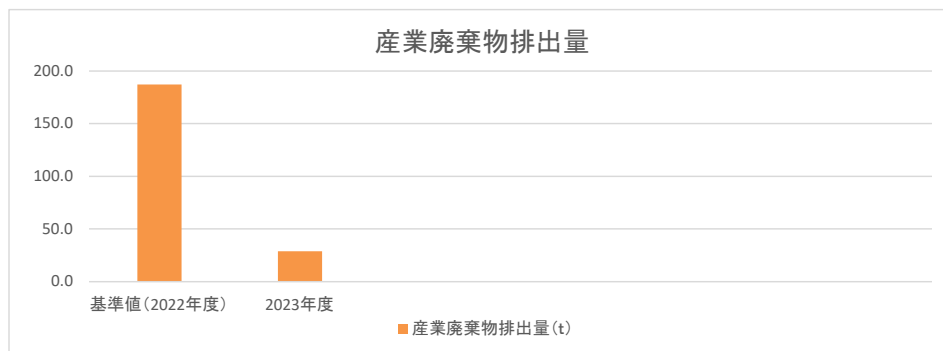
2023年度目標

総 量

産業廃棄物 180 t
産業廃棄物再資源化率 100.0 %

【実績】

項目	基準値(2022年度)	2023年度				
産業廃棄物排出量(t)	187.2	28.9				
再資源化率(%)	100	96.3				



廃棄物排出量の状況(2023年度)

産業廃棄物排出量は、減少した。
本年度は、取壊し工なかったことによる。

9. 環境経営計画の取組結果とその評価

2023年度(期間: 2023年 6月 ~ 2024年 5月)

【 評 価 】 : ○ 達成 △ 不十分 × 未達成

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し
CO ₂ 排出量	燃料使用量	○車両・重機のアイドリングストップの推進。	啓発の表示をし、意識徹底した。	○	尚一層の努力をする。
削減	削減	○車両のエコドライブの推進。	ポスター掲示し、啓発した。	○	尚一層の努力をする。
		○タイヤの空気圧・エンジンオイルの定期的な点検。	タイヤの点検は、定期的に行った。	○	尚一層の努力をする。
		○最大積載量の遵守。	定着してきた。	○	尚一層の努力をする。
		電力使用量	○クレーン使用時は、事前に窓を全開・換気して稼働する。	努力したが、不十分であった。	△
	削減	○昼休み・退社時の消灯。	取組みにより、消灯できた。	○	継続的に実施する。
		○エアコンの設定温度を夏場28℃、冬場20℃とする。	冬場の20℃は、定着できた。	○	継続的に実施する。
		○パソコンの電源はこまめに切る。	定着した。	○	継続的に実施する。
		○節電啓発の表示。	節電啓発の表示はできた。	○	継続的に実施する。
		○現場事務所での太陽光発電による電気の使用。	今年度は、設置できなかった。	×	尚一層の努力をする。
		○事務所及び工場事務所の照明のLED化を推進する。	今年度は、設置できなかった。	×	尚一層の努力をする。
用水使用量削減 (排水量削減)		○手洗い・うがい時の節水徹底。	節水できた。	○	継続的に実施する。
		○道具の片付け時の節水徹底。	節水できた。	○	継続的に実施する。
		○車両の洗車時の節水徹底。	節水できた。	○	継続的に実施する。
		○節水表示をする。	節水表示は行った。	○	継続的に実施する。
廃棄物削減	一般廃棄物	○種類ごとに分別計測し、記録を取る。	努力したが、不十分であった。	△	尚一層の努力をする。
		○コピーの両面印刷の徹底。	努力したが、不十分であった。	△	尚一層の努力をする。
	産業廃棄物	○廃棄物減少のため、使用数量管理を徹底する。	努力したが、不十分であった。	△	尚一層の努力をする。
		○マニフェスト伝票による管理を徹底する。	マニフェスト管理は、できた。	○	尚一層の努力をする。
		○廃棄物の分別処理を徹底する。	実施した	○	尚一層の努力をする。
		○発生した残材は、各現場で分別処分し、持ち帰らない。	努力したが、不十分であった。	△	尚一層の努力をする。
グリーン購入		○事務用品のエコマーク商品の購入。	優先して、購入した。	○	継続的に実施する。
		○エコマーク商品(資材)の積極的購入。	優先して、購入した。	○	継続的に実施する。
		○再生材料から作られた製品の購入・使用。	優先して、購入した。	○	継続的に実施する。
		○間伐材利用の製品の購入・使用。	購入・使用はなかった。	○	尚一層の努力をする。
環境負荷の少ない工事実施		○低騒音・排出ガス対策重機の使用。	優先して、採用した。	○	尚一層の努力をする。
		○型枠、工事看板への間伐材の使用。	優先して、採用した。	○	尚一層の努力をする。
		○環境負荷の少ない材料を採用する。	優先して、採用した。	○	尚一層の努力をする。
		○濁水防止対策の実施。	優先して、採用した。	○	尚一層の努力をする。
		○環境保全に配慮した工法の採用	不十分であった。	△	尚一層の努力をする。
		○工期短縮のため新工法の採用	不十分であった。	△	尚一層の努力をする。
		○施工箇所の環境の事前調査とそれに配慮した施工提案	努力したが、不十分であった。	△	尚一層の努力をする。
地域貢献活動		○ロードボランティアによる国道の清掃活動に取り組む。	積極的に取り組んだ。	○	継続的に実施する。
		○ビーチボランティアへの参加。	常に出動態勢を組んでいる。	○	継続的に実施する。
		○事務所周辺・現場周辺の清掃。	実施した	○	継続的に実施する。
		○交通エコポイント活動の支援	実施した	○	継続的に実施する。
		○地域行事への積極的協力と支援	積極的参加をした	○	継続的に実施する。
		○消防団活動・自主防災組織の活動支援	積極的参加をした	○	継続的に実施する。
		○「集落活動センター」の各種活動の支援	積極的参加をした	○	継続的に実施する。
		○各種環境活動への積極参加	積極的参加をした	○	継続的に実施する。

10. 次年度の取組内容

(1) 次年度の環境経営目標

2024年度(期間: 2024年 6月 ～ 2025年 5月)

項目	総量・原単位	単位	基準年 2022年度 2022.6-2023.5	2024年度 目標 2024.6-2025.5
売上高		百万円	78	80
燃料使用量			15,231	14,440
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	3,482	3,300
	原単位	(ℓ/百万円)	45	41.3
軽油使用量	総量	(ℓ)	10,980	10,400
	原単位	(ℓ/百万円)	141	130.0
灯油使用量	総量	(ℓ)	769	740
	原単位	(ℓ/百万円)	9.9	9.3
LPG使用量	総量	(kg)	0	0
	原単位	(kg/百万円)	0	0
電力使用量	総量	(kWh)	7,239	7100
	原単位	(kWh/百万円)	93	88.8
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	42,194	41,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	541	512.5
用水使用量	総量	(m ³)	347	330
	原単位	(m ³ /百万円)	4	4.1
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	735	660
	原単位	(kg/百万円)	9	8.3
産業廃棄物排出量	総量	(t)	187	175
	原単位	(t/百万円)	2	2.2
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100
グリーン購入	総量	(%)	80	80
環境負荷の少ない工事	総量	(件)	14件/14件	全件
環境美化活動	総量	(回)	10	10

*1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数(2017年度実績)

(平成30年12月27日公表)の四国電力の調整後排出係数0.535(kg-CO₂ /kWh)を使用した。

*2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

*3. 環境負荷の少ない工事

- 環境負荷の少ない材料を使用
- 低騒音・排出ガス対策型重機の使用
- 環境保全に配慮した工法の採用
- 濁水防止対策の実施
- 型枠・工事看板への間伐材の使用
- 工期短縮のため新工法の採用

中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2022年度 実績(基準年)	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
売上高		百万円	78	80	80	80
燃料使用量			15,231	14,440	11,290	11,100
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	3,482	3,300	3,200	3,100
	原単位	(ℓ/百万円)	45	41.3	40.0	38.8
軽油使用量	総量	(ℓ)	10,980	10,400	7,360	7,280
	原単位	(ℓ/百万円)	141	130.0	92.0	91.0
灯油使用量	総量	(ℓ)	769	740	730	720
	原単位	(ℓ/百万円)	9.9	9.3	9.1	9.0
LPG使用量	総量	(kg)	0	0	0	0
	原単位	(kg/百万円)	0	0	0	0
電力使用量	総量	(kWh)	7,239	7100	7000	6,900
	原単位	(kWh/百万円)	93	88.8	87.5	86.3
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	42,194	41,000	40,000	39,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	541	512.5	500.0	487.5
用水使用量	総量	(m ³)	347	330	320	310
	原単位	(m ³ /百万円)	4.4	4.1	4.0	3.9
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	735	660	650	645
	原単位	(kg/百万円)	9.4	8.3	8.1	8.1
産業廃棄物排出量	総量	(t)	187	175	170	165
	原単位	(t/百万円)	2.4	2.2	2.1	2.1
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100	100	100
グリーン購入	総量	(%)	80	80	80	80
環境負荷の少ない工事	総量	(件)	14件/14件	全件	全件	全件
環境美化活動	総量	(回)	10	10	10	10

(2) 次年度の環境経営計画

2024年度(期間: 2024年 6月 ~ 2025年 5月)

項目		活動内容	担当者	期限
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	○車両・重機のアイドリングストップの推進。	山下政俊	2025年5月31日
		○車両のエコドライブの推進。	山下政俊	2025年5月31日
		○タイヤの空気圧・エンジンオイルの定期的な点検。	山下政俊	2025年5月31日
		○最大積載量の遵守。	山下政俊	2025年5月31日
	電力使用量 削減	○クーラー使用時は、事前に窓を全開・換気して稼働する。	今宮和子	2025年5月31日
		○昼休み・退社時の消灯。	今宮和子	2025年5月31日
		○エアコンの設定温度を夏場28℃、冬場20℃とする。	今宮和子	2025年5月31日
		○パソコンの電源はこまめに切る。	今宮和子	2025年5月31日
		○節電啓発の表示。	今宮和子	2025年5月31日
		○現場事務所での太陽光発電による電気の使用。	今宮和子	2025年5月31日
		○事務所及び工場事務所の照明のLED化を推進する。	今宮和子	2025年5月31日
用水使用量削減 (排水量削減)		○手洗い・うがい時の節水徹底。	松下益三	2025年5月31日
		○道具の片付け時の節水徹底。	松下益三	2025年5月31日
		○車両の洗車時の節水徹底。	松下益三	2025年5月31日
		○節水表示をする。	松下益三	2025年5月31日
廃棄物削減	一般廃棄物	○種類ごとに分別計測し、記録を取る。	今宮和子	2025年5月31日
		○コピーの両面印刷の徹底。	今宮和子	2025年5月31日
	産業廃棄物	○廃棄物減少のため、使用数量管理を徹底する。	有田好史	2025年5月31日
		○マニフェスト伝票による管理を徹底する。	有田好史	2025年5月31日
		○廃棄物の分別処理を徹底する。	有田好史	2025年5月31日
		○発生した残材は、各現場で分別処分し、持ち帰らない。	有田好史	2025年5月31日
グリーン購入		○事務用品のエコマーク商品の購入。	今宮和子	2025年5月31日
		○エコマーク商品(資材)の積極的購入。	今宮和子	2025年5月31日
		○再生材料から作られた製品の購入・使用。	今宮和子	2025年5月31日
		○間伐材利用の製品の購入・使用。	今宮和子	2025年5月31日
環境負荷の少ない工事実施		○低騒音・排出ガス対策重機の使用。	本多光生	2025年5月31日
		○型枠、工事看板への間伐材の使用。	本多光生	2025年5月31日
		○環境負荷の少ない材料を採用する。	本多光生	2025年5月31日
		○濁水防止対策の実施。	本多光生	2025年5月31日
		○環境保全に配慮した工法の採用	本多光生	2025年5月31日
		○工期短縮のため新工法の採用	本多光生	2025年5月31日
		○施工箇所の環境の事前調査とそれに配慮した施工提案	本多光生	2025年5月31日
地域貢献活動		○ロードボランティアによる国道の清掃活動に取り組む。	本多光生	2025年5月31日
		○ビーチボランティアへの参加。	今宮和子	2025年5月31日
		○事務所周辺・現場周辺の清掃。	今宮和子	2025年5月31日
		○交通エコポイント活動の支援	今宮和子	2025年5月31日
		○地域行事への積極的協力と支援	今宮和子	2025年5月31日
		○消防団活動・自主防災組織の活動支援	今宮和子	2025年5月31日
		○「集落活動センター」の各種活動の支援	今宮和子	2025年5月31日
		○各種環境活動への積極参加	今宮和子	2025年5月31日

11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	本多光生	遵守	2024年5月31日
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	本多光生	遵守	2024年5月31日
	第12条の10、11項	多量排出事業者（年間1,000t以上）の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	本多光生	遵守	2024年5月31日
	第12条の三	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	本多光生	遵守	2024年5月31日
	第12条の三7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	本多光生	遵守	2024年5月31日
	第14条 第14条の一12項	産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可（5年毎に更新） 産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分	期限切れ 3ヶ月前	本多光生	遵守	2024年5月31日
	規則第8条	○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	本多光生	遵守	2024年5月31日
資源の有効な利用の促進に関する法律 （資源有効利用促進法）	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	本多光生	遵守	2024年5月31日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	本多光生	遵守	2024年5月31日
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m ² 以上 新築・増築：床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	本多光生	遵守	2024年5月31日
騒音規制法	第5条	○騒音規制基準の遵守	必要時	本多光生	遵守	2024年5月31日
	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時			
振動規制法	第5条	○振動規制基準の遵守	必要時	本多光生	遵守	2024年5月31日
	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時			
大気汚染防止法 （解体工事）	第18条の15	○解体等工事受注者は、石綿使用の有無（すべての石綿含有建材）について事前に調査し、発注者へ調査結果を書面で説明する。	必要時	本多光生	遵守	2024年5月31日
	第18条の17	○特定粉じん作業開始の14日前までに都道府県知事に届出 解体工事：床面積80m ² 以上 建築物改造：請負代金100万円以上				
	第18条の20	○特定工事の元請け業者若しくは下請け業者は特定粉じん排出作業において作業基準を遵守				
	第18条の22	○元請業者の下請に対する粉じん排出作業を適切に行うよう指導				
	第18条の23	○特定粉じん作業完了後、結果を遅滞なく発注者に書面で報告と記録の作成保管				
消防法	第10条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長への許可 第1石油類 ガソリン：200ℓ 第2石油類 灯油、軽油：1,000ℓ 第3石油類 重油：2,000ℓ 第4石油類 潤滑油：6,000ℓ キヤ油、エンジンオイル、マシン油	必要時	本多光生	遵守	2024年5月31日
	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 （指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵）				

法規名		適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
浄化槽法		第10条 第11条	○年1回の浄化槽の保守点検、清掃実施 ○年1回の水質検査実施	年1回	本多光生	遵守	2024年5月31日
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律		第5条	○化学物質の排出量、使用量の把握	必要時	本多光生	遵守	2024年5月31日
オフロード法		第4条2	○国が実施する大気汚染の防止に関する施策に協力する。	必要時	本多光生	遵守	2024年5月31日
グリーン購入法		第5条	○物品の購入時には出来る限り環境物品等を購入す	必要時	本多光生	遵守	2024年5月31日
建築基準法		第28条の2	○石綿その他の物資の飛散又は発散による衛生上の措置	必要時	本多光生	遵守	2024年5月31日
	施工令	第20条の5	○居室において衛生上の支障を生ずるおそれがある物資	必要時	本多光生	遵守	2024年5月31日
		第20条の7	○居室を有する建築物の建築材料についてのホルムアルデヒドに関する技術的基準				
フロン排出抑制法		第16条	○「第1種特定製品」について、フロン点検 保有重機のエアコンのフロン点検	1回/3ヶ月	本多光生	遵守	2024年5月31日
PRTR法		第2条	○PRTR対象物資の管理	必要時	本多光生	遵守	2024年5月31日

(条例)

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	本多光生	遵守	2024年5月31日
	第7条	○県民の責務				
高知県清流保全条例	第2条	○事業者の清流保全の努力	必要時	本多光生	遵守	2024年5月31日
幡多西部消防組合火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵)	必要時	本多光生	遵守	2024年5月31日
大月町 廃棄物の処理及び清掃に関する条例	第2条、第4条 第5条	○ごみの適正処理を実行する。	必要時	本多光生	遵守	2024年5月31日

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2023年6月1日～2024年5月31日の間、環境関連法規等を確認した結果、違反はありません。
なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

12. 代表者による全体評価と見直しの結果

作成年月日 2024年 6月18日

代表者
今 宮 裕 子

代表者による全体評価と見直しの結果

■定期見直し
□臨時見直し

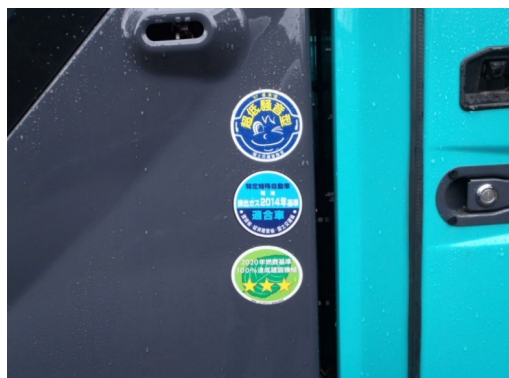
見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】				【環境経営方針】	
①環境関連法規制等の遵守状況 環境関連法規等の違反はなかった。				変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
②問題点の是正処置及び予防処置の状況 是正処置及び予防処置となるものは、なかった。				方針の周知徹底を図り、全員参加の活動とします。	
③前回までの代表者の指示事項への対応					
<改善提案>				【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】	
				変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】				目標は、概ね達成できた。次年度以降も、全社員がさらに意識統一して協力し、年間目標達成に向け、なお一層努力していきます。	
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)	実施体制については、現状の体制で取り組みます。	
燃料使用量	達成	達成	次年度も目標通り遂行する		
電力使用量	未達成	未達成	次年度も目標通り遂行する		
CO ₂ 排出量	達成	達成	次年度も目標通り遂行する		
用水使用量	未達成	未達成	次年度も目標通り遂行する		
一般廃棄物	未達成	未達成	次年度も目標通り遂行する		
産業廃棄物	達成	達成	次年度も目標通り遂行する	【その他】	
				変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
<改善提案>					
【周囲の変化の状況】				【総括】 （環境経営レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載）	
①外部コミュニケーション記録より 外部からの苦情・要望等は、なかった。				エコアクション21はシステムとして有効に機能している。次年度も、さらに努力を重ね、取り組んでいく。環境問題については、企業としての社会的責任を自覚し、全社員が意識改革し、自分たちにできることから挑戦し、着実に成果を上げてきた。今後も、自社のみならず、さらに地域の環境保全に努めるとともに、業界及び、各種の環境団体とも連携し、幅広い活動を推進し、SDGsの目標推進のため、さらに努力してまいりたい。	
②環境関連法規制等の動向他					
<改善提案>					
代表者が自ら得た情報					
特になし					

13. その他の取組み

【具体的な取組状況】

1. CO2 排出量削減

(1) 燃料使用量削減



環境配慮型重機の使用

- 超低騒音型
- 排出ガス2014年基準 適合車
- 2020年燃費基準100%達成建設機械



工事車両・重機の過積載防止の徹底

工事車両・重機内に「過積載防止」のシールを貼付、法令の遵守とともに、燃料使用量削減の啓発を行っています。



(2) 電力使用量削減



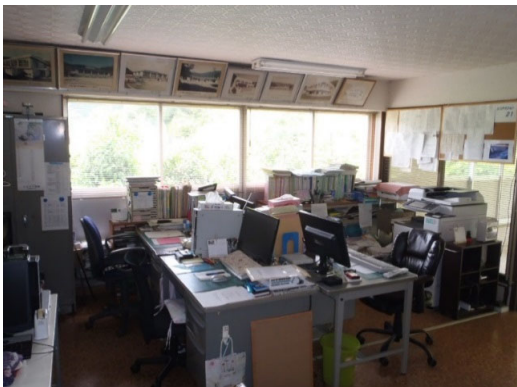
本社事務所 節電啓発

本社事務所に節電シールを貼付け、啓発を図っています。
また、COOL CHOICEにも参加、CO2削減に、努めています。



昼休みの消灯

本社事務所の照明を昼休み(12時～13時)消灯し、
節電に努めています。



2. 用水使用量の削減

節水シール貼付



本社事務所・倉庫の水道蛇口に節水シールを貼付け、啓発を図っています。

3. グリーン購入

建設資材・事務用品のエコマーク・グリーンマーク商品の優先購入

事務用品はエコマーク・グリーンマークの付いた商品を優先的に購入しています。

対象商品:コピー用紙、ファイル類、ノート類、ボールペン、シャープペン等

[illegible]

建設資材

4. 環境負荷の少ない工事实施



【施工前】



【作業風景】



【完成】

環境負荷の少ない材料の使用

工事名称: 長期滞在複合施設 駐車場整備工事

工事期間: 2023年12月 7日 ~ 2024年 3月25日

工事場所: 高知県幡多郡大月町小才角



【作業風景】



【完成】

緑化率 67%



工事名称:弘見川 河川改修工事
 工事期間:2023年11月17日 ~2024年 3月25日
 工事場所:高知県幡多郡大月町添ノ川

工事掲示板への高知県産間伐材の使用

◆工事看板には、高知県産間伐材を使用し、環境負荷低減に努めました。



工事名称:浦宗川 砂防メンテナンス工事
 工事期間:2023年12月27日 ~2024年 5月31日
 工事場所:高知県幡多郡大月町姫ノ井

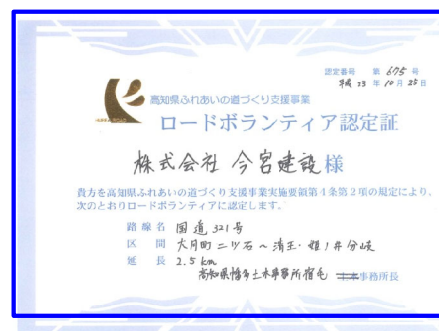
5. 環境美化活動

ロードボランティア活動

国道321号線のロードボランティア
 活動を行い、道路の清掃活動を行いました。
 (年10回実施)



高知県 ロードボランティア登録
 平成23年10月25日 認定



6. 各種工事(環境負荷の少ない工事)



【施工前】

工事名称: 弘見川 河川改修工事
工事期間: 2023年11月17日 ~ 2024年 3月25日
工事場所: 高知県幡多郡大月町頭集



【施工状況】



【完成】



【完成】



備蓄倉庫設置

7. 災害対策関連



備蓄倉庫設置



頭集川 倒木撤去



頭集川 倒木撤去



小才角川 流木撤去



才角川 堆積土撤去



(完了)

14. 教育・啓発活動

■教育・啓発活動の主要テーマ

- (1) 環境意識の向上、エコアクション21活動の推進
- (2) 環境関連資格の取得

■2023年度目標

- 年間教育回数 10回以上

■これまでの取り組み状況

- 毎年の環境活動レポートを作成し、従業員に配布しています。
- 年間、従業員への教育は、毎月行いました。
- 緊急事態訓練は、2回行いました。